

# フランクリン・テンプレートン・アメリカ高配当株ファンド (毎月分配型) / (3ヵ月決算型) / (年2回決算型)

追加型投信 / 海外 / 資産複合

## 交付運用報告書

(毎月分配型)

第151期(決算日2025年9月22日) 第152期(決算日2025年10月20日) 第153期(決算日2025年11月20日)  
第154期(決算日2025年12月22日) 第155期(決算日2026年1月20日) 第156期(決算日2026年2月20日)

(3ヵ月決算型)

(年2回決算型)

第50期(決算日2025年11月20日) 第51期(決算日2026年2月20日) 第26期(決算日2026年2月20日)

作成対象期間(2025年8月21日~2026年2月20日)

(毎月分配型)

第156期末(2026年2月20日)	
基準価額	13,966円
純資産総額	49,657百万円
第151期~第156期	
騰落率	12.5%
分配金(税込み)合計	1.080円

(3ヵ月決算型)

第51期末(2026年2月20日)	
基準価額	10,109円
純資産総額	16,264百万円
第50期~第51期	
騰落率	12.5%
分配金(税込み)合計	760円

(年2回決算型)

第26期末(2026年2月20日)	
基準価額	40,156円
純資産総額	32,314百万円
第26期	
騰落率	12.5%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「フランクリン・テンプレートン・アメリカ高配当株ファンド(毎月分配型) / (3ヵ月決算型) / (年2回決算型)」は、2026年2月20日に決算を行いました。

当ファンドは、配当収入の確保と信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、フランクリン・テンプレートン・ジャパン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

フランクリン・テンプレートン・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

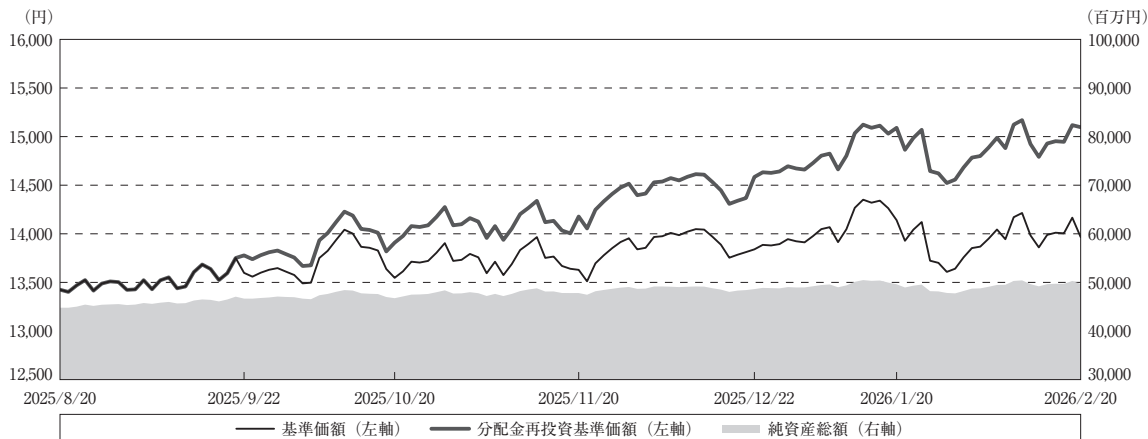
<https://www.franklintempleton.co.jp>

## 運用経過

<フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

### 作成期間中の基準価額等の推移

（2025年8月21日～2026年2月20日）



第151期首：13,425円

第156期末：13,966円（既払分配金(税込み)：1,080円）

騰落率：12.5%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年8月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当作成期のパフォーマンス（騰落率）はプラス（分配金再投資ベース）となりました。

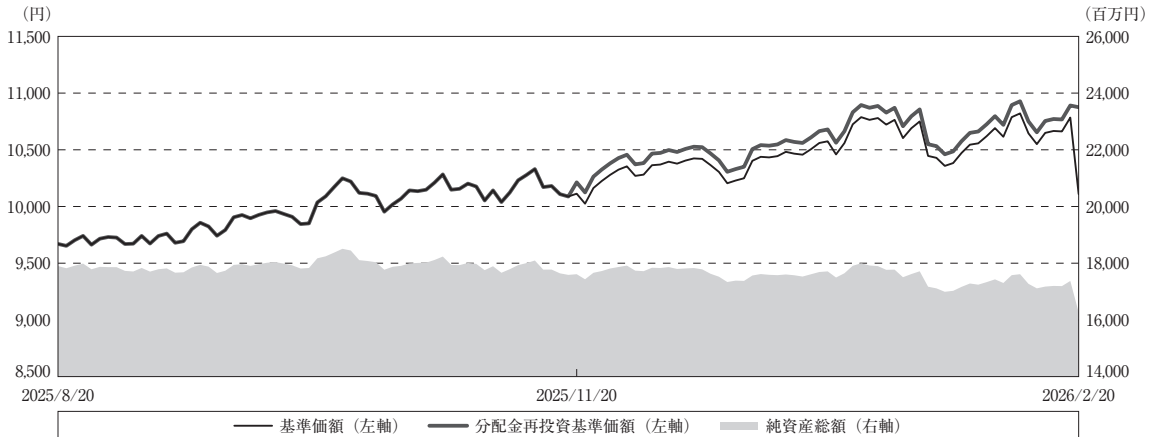
株式要因がプラスとなり、米ドル・円相場が米ドル高・円安となったことから、為替要因もプラスとなりました。

## 運用経過

<フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

### 作成期間中の基準価額等の推移

（2025年8月21日～2026年2月20日）



第50期首：9,670円

第51期末：10,109円（既払分配金(税込み):760円）

騰落率：12.5%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2025年8月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当作成期のパフォーマンス（騰落率）はプラス（分配金再投資ベース）となりました。

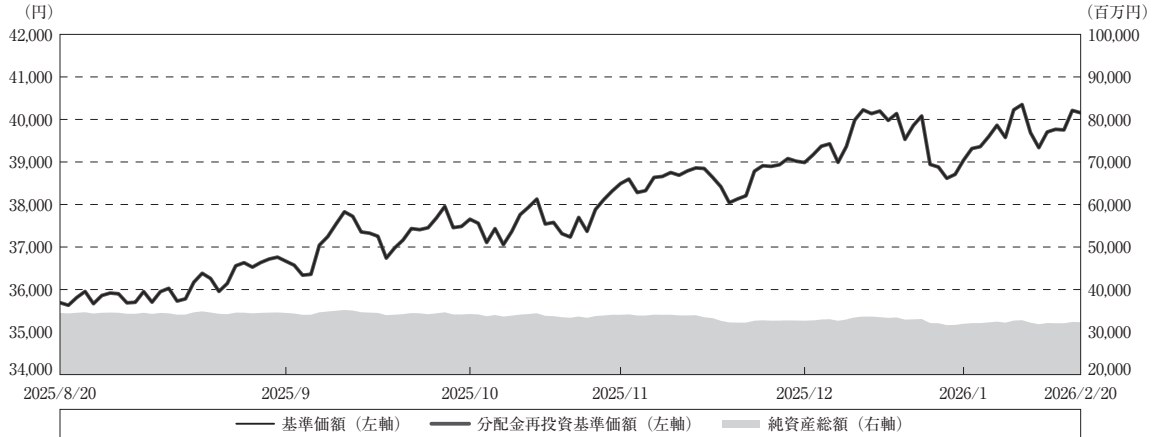
株式要因がプラスとなり、米ドル・円相場が米ドル高・円安となったことから、為替要因もプラスとなりました。

## 運用経過

<フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

### 期中の基準価額等の推移

（2025年8月21日～2026年2月20日）



期首：35,692円

期末：40,156円（既払分配金(税込み)：0円）

騰落率：12.5%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2025年8月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当期のパフォーマンス（騰落率）はプラス（分配金再投資ベース）となりました。

株式要因がプラスとなり、米ドル・円相場が米ドル高・円安となったことから、為替要因もプラスとなりました。

<フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

1 万口当たりの費用明細

（2025年8月21日～2026年2月20日）

項 目	第151期～第156期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	133	0.965	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	( 65 )	(0.471)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	( 65 )	(0.471)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	( 3 )	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.019	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（株 式）	( 2 )	(0.013)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資証券）	( 0 )	(0.003)	
（M L P）	( 0 )	(0.002)	
(c) その他費用	7	0.051	(c) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	( 1 )	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 0 )	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	( 0 )	(0.001)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
（その他1）	( 4 )	(0.028)	M L P 投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用等（△の場合は、未払費用の組戻し）
（その他2）	( 2 )	(0.017)	権利処理に伴う費用（外国税額分も含む）
合 計	143	1.035	
作成期間の平均基準価額は、13,748円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

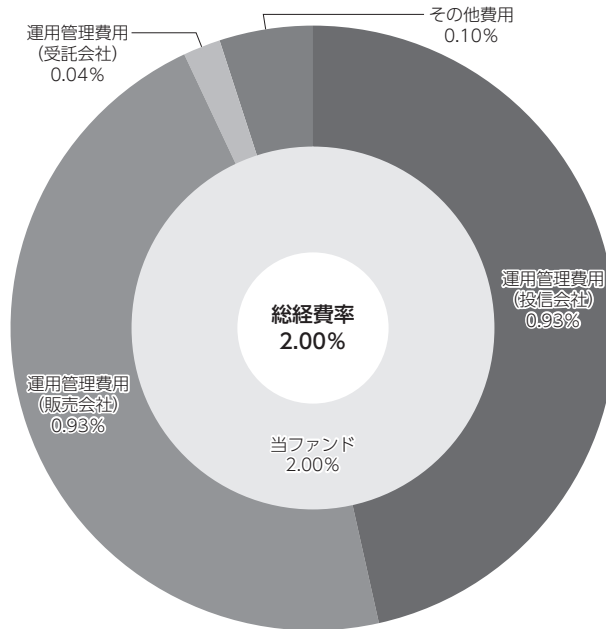
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.00%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

1万口当たりの費用明細

(2025年8月21日～2026年2月20日)

項 目	第50期～第51期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	98	0.965	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	( 48)	(0.471)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	( 48)	(0.471)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.018	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の 平均受益権口数
(株 式)	( 1)	(0.013)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(投資証券)	( 0)	(0.003)	
(M L P)	( 0)	(0.002)	
(c) その他費用	6	0.054	(c) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益 権口数
(保管費用)	( 0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保 管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷等費用)	( 0)	(0.004)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付 および届出に係る費用
(その他1)	( 3)	(0.027)	M L P 投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払 費用等(△の場合は、未払費用の組戻し)
(その他2)	( 2)	(0.016)	権利処理に伴う費用(外国税額分も含む)
合 計	106	1.037	
作成期間の平均基準価額は、10,186円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

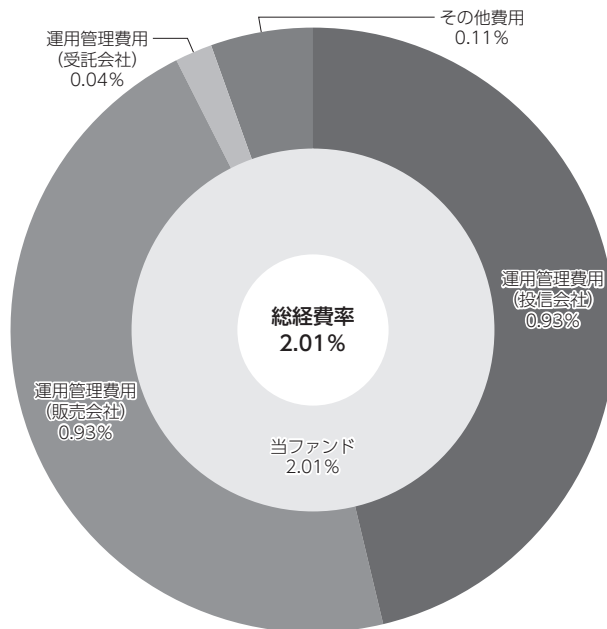
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.01%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

1万口当たりの費用明細

(2025年8月21日～2026年2月20日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	365	0.965	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(178)	(0.471)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(178)	(0.471)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 8)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.018	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数
(株 式)	( 5)	(0.013)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資証券)	( 1)	(0.003)	
(M L P)	( 1)	(0.002)	
(c) その他費用	20	0.052	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 2)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷等費用)	( 1)	(0.002)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
(その他1)	(11)	(0.029)	M L P 投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用等(△の場合は、未払費用の組戻し)
(その他2)	( 6)	(0.016)	権利処理に伴う費用(外国税額分も含む)
合 計	392	1.035	
期中の平均基準価額は、37,789円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

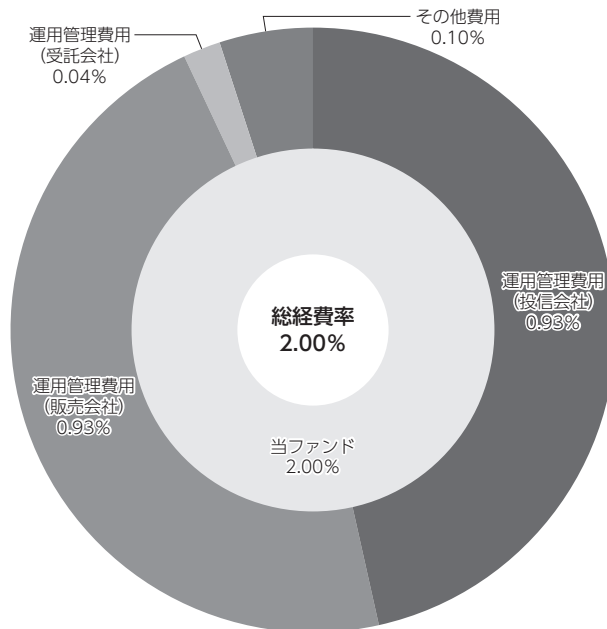
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.00%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

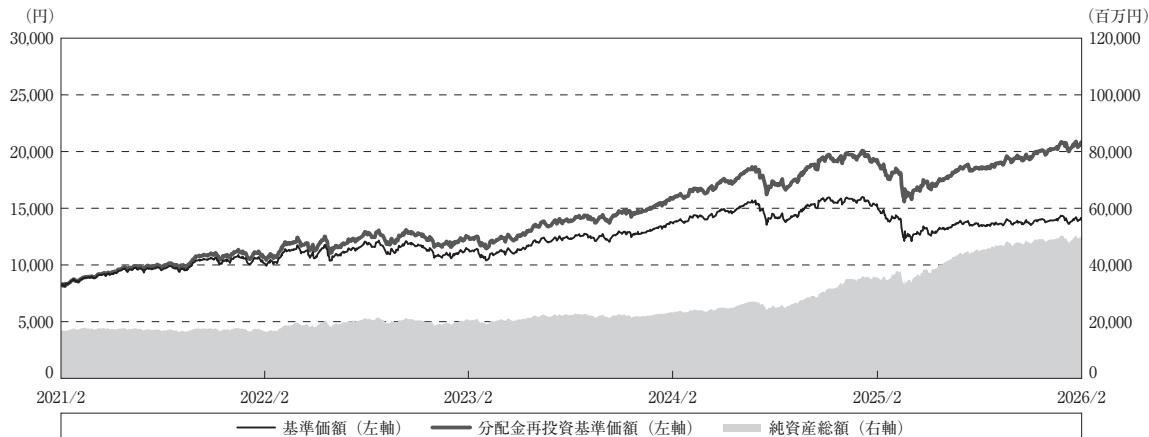
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

最近5年間の基準価額等の推移

（2021年2月22日～2026年2月20日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかにについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2021年2月22日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年2月22日 決算日	2022年2月21日 決算日	2023年2月20日 決算日	2024年2月20日 決算日	2025年2月20日 決算日	2026年2月20日 決算日
基準価額 (円)	8,225	10,129	11,353	13,709	15,115	13,966
期間分配金合計(税込み) (円)	-	480	480	680	1,380	2,160
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	29.5	17.0	27.6	20.8	8.3
純資産総額 (百万円)	16,879	16,632	20,671	23,237	35,602	49,657

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

最近5年間の基準価額等の推移

（2021年2月22日～2026年2月20日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2021年2月22日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

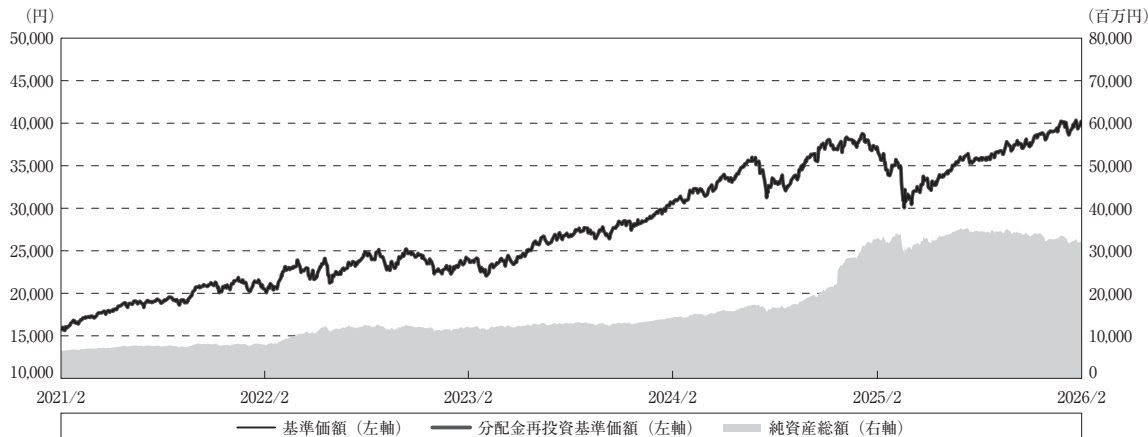
	2021年2月22日 決算日	2022年2月21日 決算日	2023年2月20日 決算日	2024年2月20日 決算日	2025年2月20日 決算日	2026年2月20日 決算日
基準価額 (円)	9,352	9,803	9,807	10,004	10,041	10,109
期間分配金合計(税込み) (円)	-	2,200	1,670	2,330	1,980	760
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	29.5	17.0	27.6	20.9	8.3
純資産総額 (百万円)	3,271	3,146	4,131	4,457	14,472	16,264

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

最近5年間の基準価額等の推移

（2021年2月22日～2026年2月20日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2021年2月22日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年2月22日 決算日	2022年2月21日 決算日	2023年2月20日 決算日	2024年2月20日 決算日	2025年2月20日 決算日	2026年2月20日 決算日
基準価額 (円)	15,821	20,491	23,994	30,652	37,050	40,156
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	29.5	17.1	27.7	20.9	8.4
純資産総額 (百万円)	6,569	7,883	12,084	14,258	33,143	32,314

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）>

**投資環境**

（2025年8月21日～2026年2月20日）

米国S&P 500指数の推移

当作成期の米国株式相場は、上昇しました。

期の前半は、米連邦準備制度理事会（FRB）が利下げを実施したことなどを背景に、株式市場は上昇しました。一方、トランプ米大統領による中国に対する関税の大幅な引き上げ措置の発表を受け、米中貿易摩擦を巡る懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まった局面では、株式市場は一時下落しました。

期の半ばは、FRB高官が追加利下げに慎重な姿勢を示したことや、割高感への懸念からハイテク株が売られたことを背景に、株式市場は当期中で最も大きく下落しました。その後、米連邦政府機関の一部閉鎖の影響で公表が遅れていた2025年9月の米雇用統計で失業率が2021年10月以来、約4年ぶりの高水準となったことを受けてFRBの追加利下げ観測が強まり、株式市場は持ち直す展開となりました。

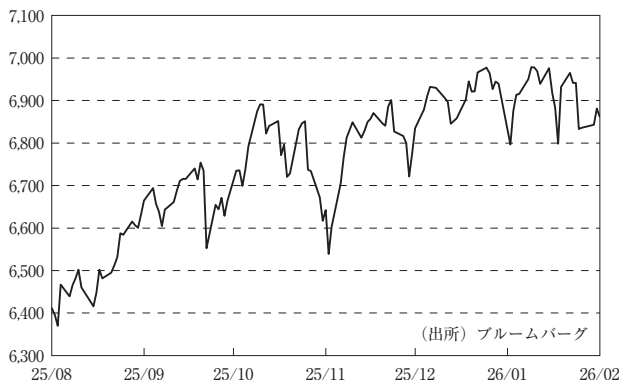
期の後半は、トランプ米大統領によるグリーンランド領有を巡る欧州に対する関税措置や、一部ハイテク企業のAI（人工知能）投資動向への警戒感が重荷となり、株式市場が調整する場面も見られました。一方で、こうした警戒感の後退や堅調な米経済指標が支えとなり、株式市場は変動を伴いながらも高値圏で推移しました。

当作成期のMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）市場は、上昇しました。

期の前半は、米連邦政府機関の一部閉鎖を巡る景気への不透明感が広がる中、原油需要の鈍化懸念を背景とした原油安や、米中貿易摩擦への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まったことが重荷となり、MLP市場は一時下落しました。しかし、その後は米中貿易摩擦を巡る懸念が和らいだことから、MLP市場は上昇に転じました。

期の半ばは、米政府機関閉鎖の解消による経済活動の正常化に向けて原油需要が高まるとの期待や、米雇用統計で失業率が高水準となり、FRBの追加利下げ観測が強まったことなどを背景に、MLP市場は底堅く推移しました。

期の後半は、イラン情勢を巡る緊張の高まりなど地政学リスクが意識されたほか、石油輸出国機構（OPEC）加盟国とロシアなど非加盟産油国で構成するOPECプラスの主要メンバーであるカザフスタンにおける原油供給不安に加え、米国での寒波による石油生産停止懸念を受けた原油高を背景に、MLP市場は上昇基調を強めました。



アレリアンMLP指数の推移



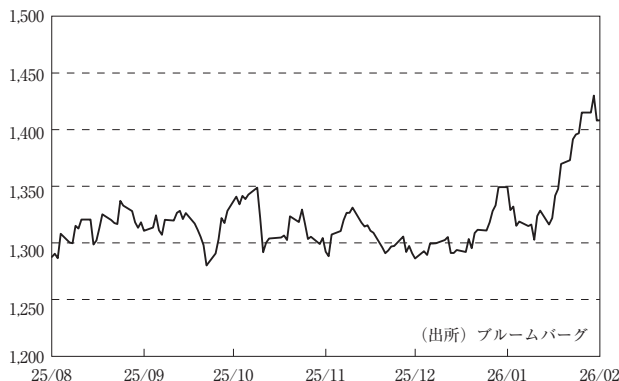
当作成期のリート市場は、上昇しました。

期の前半は、米中貿易摩擦への懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まったことが重荷となり、リート市場は一時下落しました。しかし、その後は米中貿易摩擦を巡る懸念が和らいだほか、米経済指標で労働市場の減速が示され、FRBによる利下げ観測の強まりから米国債利回りが低下したことを受け、リート市場は上昇に転じました。

期の半ばは、2025年10月の米連邦公開市場委員会（FOMC）後の会見にてFRBのパウエル議長が12月の会合での追加利下げをけん制する姿勢を示したことに加え、日銀の利上げ期待を背景に米国債券利回りが上昇したことが下押し要因となり、リート市場は軟調に推移しました。

期の後半は、12月の米小売売上が市場予想を下回ったほか、2026年1月の米消費者物価指数（CPI）の伸びが鈍化したことを受けFRBによる利下げ観測が高まり、米国債券利回りが低下したことから、リート市場は上昇基調を強めました。

MSCI US REIT指数の推移



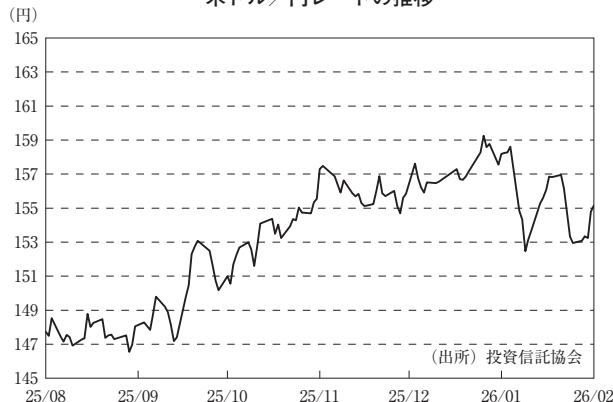
当作成期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。

期の前半は、米労働市場の軟化を受けてFRBによる利下げ観測が強まったことや、米連邦政府機関の一部閉鎖を巡る不透明感から、米ドル・円相場は一時下落しました。その後は、高市氏の自民党総裁選出を受け、日本の財政運営が拡張的になるとの思惑が広がり、米ドル高・円安が進みました。

期の半ばは、日本の金融政策正常化が後ずれするとの観測や、日本の財政悪化を巡る懸念から円売りが進んだほか、日本政府・日銀の円買い為替介入が意識されるなか、当局の円安けん制姿勢が弱いとの見方が重なり、米ドル・円相場は上昇しました。

期の後半は、日米の協調的なレートチェック観測を受け、米ドル安・円高が進みました。その後は、衆院選を控え、日本で財政拡張的な政策が進みやすいとの見方が広がり、米ドル・円相場は持ち直しました。しかし、期末にかけては、選挙後に過度な財政拡張への警戒感が後退したことから、再び米ドル安・円高が優勢となりました。

米ドル／円レートの推移



<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）>

## 当ファンドのポートフォリオ

（2025年8月21日～2026年2月20日）

当ファンドは、主に「フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLPおよび不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期の運用においては、高水準の配当利回りが期待できる銘柄への投資を行いました。また、投資にあたっては、各銘柄の配当の継続性、配当の成長性、財務の健全性、株価の水準等に着目してポートフォリオの構築を行いました。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

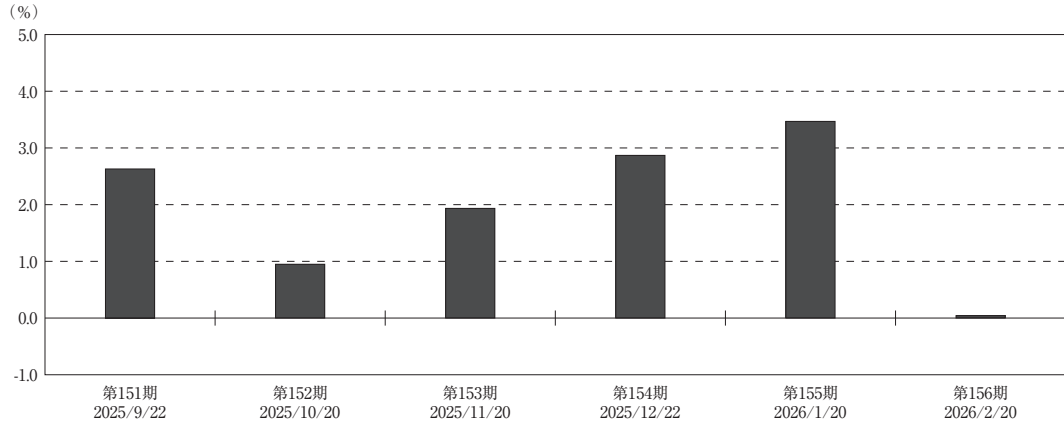
**当ファンドのベンチマークとの差異**

（2025年8月21日～2026年2月20日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

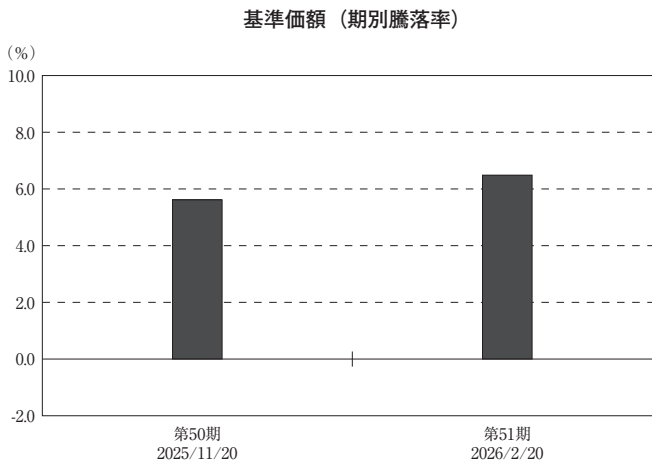
<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

**当ファンドのベンチマークとの差異**

（2025年8月21日～2026年2月20日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

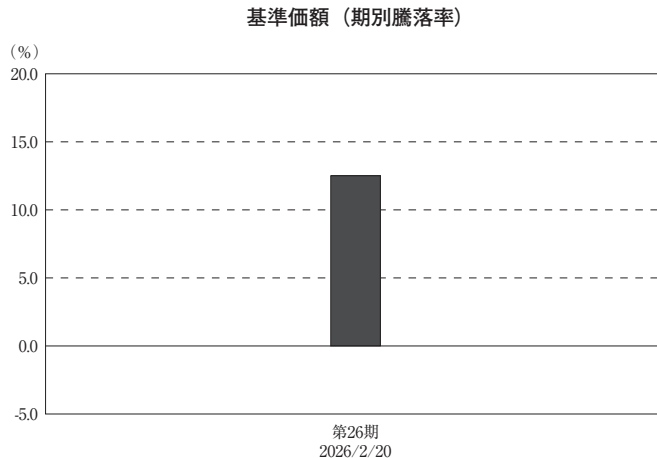
<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

**当ファンドのベンチマークとの差異**

（2025年8月21日～2026年2月20日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）>

**分配金**

（2025年8月21日～2026年2月20日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
	2025年8月21日～ 2025年9月22日	2025年9月23日～ 2025年10月20日	2025年10月21日～ 2025年11月20日	2025年11月21日～ 2025年12月22日	2025年12月23日～ 2026年1月20日	2026年1月21日～ 2026年2月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	180 1.306%	180 1.311%	180 1.303%	180 1.284%	180 1.257%	180 1.272%
当期の収益	36	21	29	180	180	12
当期の収益以外	143	158	150	－	－	167
翌期繰越分配対象額	6,608	6,450	6,300	6,504	6,800	6,633

フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第50期	第51期
	2025年8月21日～ 2025年11月20日	2025年11月21日～ 2026年2月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	100 0.979%	660 6.129%
当期の収益	64	567
当期の収益以外	35	92
翌期繰越分配対象額	376	369

フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第26期
	2025年8月21日～ 2026年2月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	－ －%
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	30,155

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）>

## 今後の運用方針

当ファンドは米国の株式、MLP、リートへの投資を目的としたファンドです。ポートフォリオにおいては、配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、各銘柄の配当の継続性、配当の成長性、財務の健全性、株価の水準等に着眼してポートフォリオの構築を行う方針です。

## お知らせ

該当事項はございません。

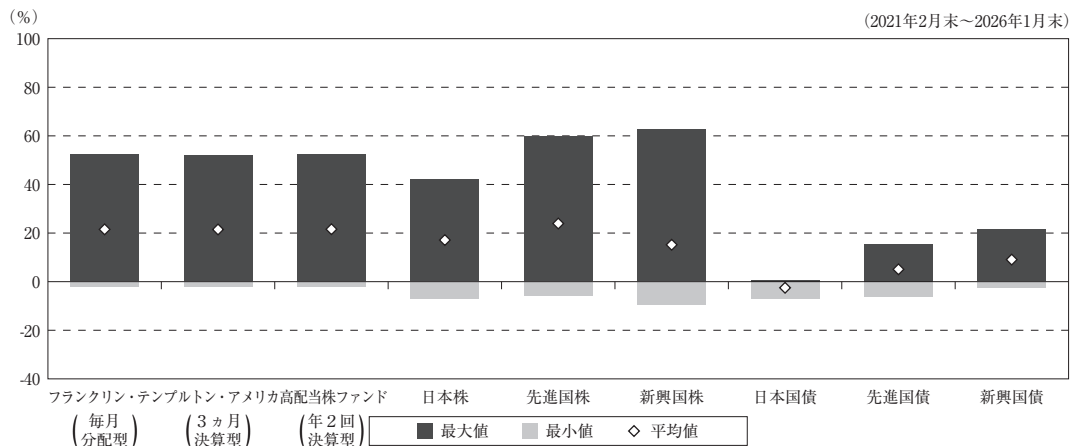
## 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／資産複合	
信 託 期 間	（ 毎 月 分 配 型 ）	2013年3月8日～2033年2月18日まで
	（ 3 ヲ 月 決 算 型 ）	2013年7月19日～2044年2月18日まで
	（ 年 2 回 決 算 型 ）	2013年3月8日～2044年2月18日まで
運 用 方 針	主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指します。	
主 要 投 資 対 象	当 フ ァ ン ド	「フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	当 フ ァ ン ド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	フランクリン・テンブルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	（ 毎 月 分 配 型 ）	原則として毎月20日。
	（ 3 ヲ 月 決 算 型 ）	原則として毎年2月、5月、8月および11月の各20日。
	（ 年 2 回 決 算 型 ）	原則として毎年2月20日および8月20日。
	上記各ファンドの決算日（休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

<フランクリン・templton・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型）>



(単位: %)

	フランクリン・templton・アメリカ高配当株ファンド (毎月分配型)	フランクリン・templton・アメリカ高配当株ファンド (3ヵ月決算型)	フランクリン・templton・アメリカ高配当株ファンド (年2回決算型)	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	52.2	52.4	52.5	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 2.1	△ 2.1	△ 2.1	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	21.5	21.5	21.6	17.1	23.9	15.2	△ 2.5	5.1	9.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年2月から2026年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(※) 各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

## 当ファンドのデータ

<フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）>

### 組入資産の内容

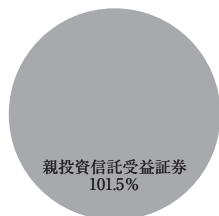
（2026年2月20日現在）

#### ○組入上位ファンド

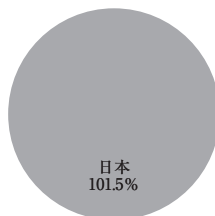
銘柄名	第156期末
フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	101.5%
組入銘柄数	1銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

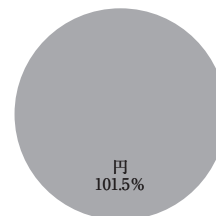
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。その他には現金等を含みます。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

### 純資産等

項目	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末	第155期末	第156期末
	2025年9月22日	2025年10月20日	2025年11月20日	2025年12月22日	2026年1月20日	2026年2月20日
純資産総額	46,664,722,770円	46,750,001,600円	47,810,378,842円	48,621,244,115円	49,608,834,387円	49,657,594,314円
受益権総口数	34,317,065,946口	34,510,551,775口	35,080,324,494口	35,132,196,595口	35,083,987,529口	35,555,780,442口
1万口当たり基準価額	13,598円	13,547円	13,629円	13,840円	14,140円	13,966円

\* 当作成期間（第151期～第156期）中における追加設定元本額は6,279,401,983円、同解約元本額は4,088,444,102円です。

## 当ファンドのデータ

<フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）>

### 組入資産の内容

（2026年2月20日現在）

#### ○組入上位ファンド

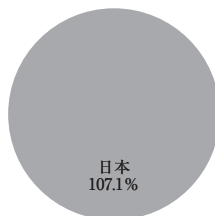
銘柄名	第51期末
フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	107.1%
組入銘柄数	1銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

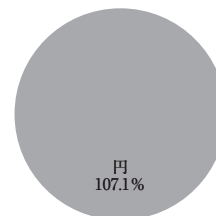
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。その他には現金等を含みます。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

### 純資産等

項目	第50期末	第51期末
	2025年11月20日	2026年2月20日
純資産総額	17,612,004,183円	16,264,714,243円
受益権総口数	17,415,295,902口	16,089,195,551口
1万口当たり基準価額	10,113円	10,109円

\* 当作成期間（第50期～第51期）中における追加設定元本額は428,165,950円、同解約元本額は2,848,567,103円です。

## 当ファンドのデータ

<フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）>

### 組入資産の内容

（2026年2月20日現在）

#### ○組入上位ファンド

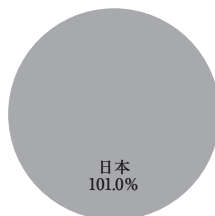
銘柄名	第26期末
フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド	101.0%
組入銘柄数	1銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

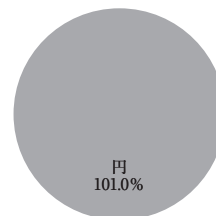
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。その他には現金等を含みます。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

### 純資産等

項目	第26期末
	2026年2月20日
純資産総額	32,314,880,743円
受益権総口数	8,047,385,538口
1万口当たり基準価額	40,156円

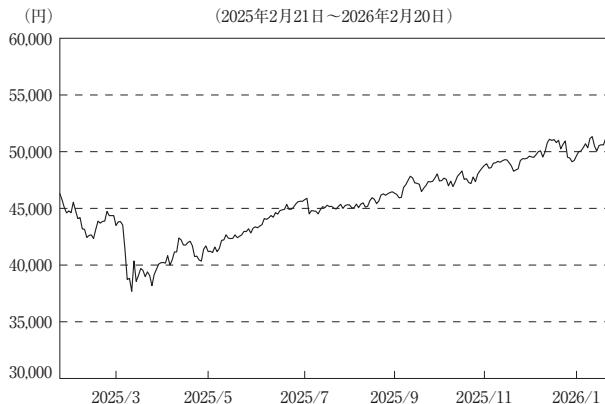
\*期中における追加設定元本額は294,682,268円、同解約元本額は1,911,401,450円です。

## 組入上位ファンドの概要

### フランクリン・テンプルトン・アメリカ高配当株マザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年2月21日～2026年2月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2025年2月21日～2026年2月20日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株証券) (投資証券) (MLP)	19 (12) (3) (4)	0.041 (0.026) (0.007) (0.008)
(b) 有価証券取引税 (株証券) (投資証券) (MLP)	0 (0) (0) (0)	0.001 (0.000) (0.000) (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他1) (その他2)	21 (4) (2) (15)	0.046 (0.008) (0.005) (0.033)
合計	40	0.088

期中の平均基準価額は、45,493円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2026年2月20日現在)

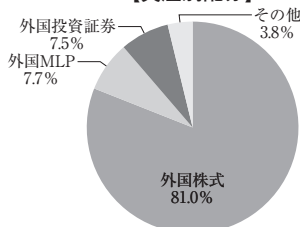
銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
				%
1 WILLIAMS COS INC	エネルギー	米ドル	アメリカ	4.0
2 NEXTERA ENERGY INC	公益事業	米ドル	アメリカ	2.8
3 KINDER MORGAN INC	エネルギー	米ドル	アメリカ	2.7
4 UNION PACIFIC CORP	資本財・サービス	米ドル	アメリカ	2.6
5 APPLE INC	情報技術	米ドル	アメリカ	2.6
6 DTE ENERGY COMPANY	公益事業	米ドル	アメリカ	2.4
7 JPMORGAN CHASE & CO	金融	米ドル	アメリカ	2.3
8 ALPHABET INC-CL A	コミュニケーション・サービス	米ドル	アメリカ	2.2
9 BOEING CO/THE	資本財・サービス	米ドル	アメリカ	2.2
10 MICROSOFT CORP	情報技術	米ドル	アメリカ	2.2
組入銘柄数	64銘柄			

(注) 比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

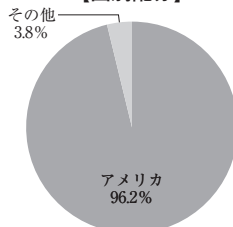
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

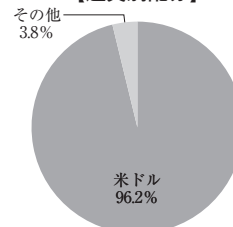
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。その他には現金等を含みます。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。